

## 第 部門 都市の夜間景観に関する比較研究 ～大阪・神戸・奈良における近景と遠景～

大阪工業大学工学部	学生員	草開	仁史
大阪工業大学工学部	学生員	石川	卓義
大阪工業大学工学部	学生員	松尾	喜進
大阪工業大学工学部	正会員	田中	一成

## 1. はじめに

私達が普段、なにげなく接している夜間景観（以下：夜景）でも都市によって見え方に違いを感じる。それは、具体的に何に起因しているのであろうか。本研究の前段階として、我々は照明器具の違い、照明方式の違い、及び交通量（自動車）などに関する調査を行った。

夜景には、高速道路や大通りにおけるナトリウムランプの街灯、広告塔、ファザード看板、横看板、窓、ショウウィンドウといったものが影響しているのではないかと考えられる。そして、こういったものでも、それぞれの照明方式の違いによる都市の特徴など、街に賑わいを与えるための光の演出はとても大切である。そこで、近景と遠景の関わりを考えたうえでの近景の整備を行うことによって、遠景を美しく演出することについて考える。

## 2. 研究の目的と方法

本研究では近景と遠景の相互関係から、夜景に対するイメージの違いに影響を与えているものを見つけ出し、それを都市別に考察・比較することにより、様々なタイプの都市の特徴を把握し、そこから、近景をどのように整備すれば、全ての人達に受け入れられるような街の夜景を形成することができるのかを見つけ出すことを目的としている。

## 3. 対象地の選定

本研究では、遠景の対象地を大阪・神戸・奈良とし、近景調査の対象地区を、各都市の主要地域の中心駅(大阪：JR大阪駅、神戸：阪急三ノ宮駅、奈良：JR奈良駅)周辺と設定した。

神戸の夜景といえば全国的に有名であり、日本三大夜景（函館・神戸・長崎）の一つにも数えられているが、その夜景の絶景ポイントとして六甲山がある。その神戸の夜景と対照させるものとして、関西圏では昼夜問わず商業活動が最も盛んであり、派手な建物・看板等の灯りによってとても賑やかに夜のまちを演出している大阪がある。大阪にも夜景の絶景ポイントとして生駒山がある。そして、この二つの都市とは全く異なり、昔ながらの日本固有の建物がたくさん建ち並び、古都の歴史・文化が今なおまちに根強く存在するのは、奈良である。ここにも、夜景の絶景ポイントとして若草山がある。

同じ関西圏ではあるが、それぞれ特徴のある町並みを持つ三都市の夜景を対象地として選定し、近景・遠景の両方から調査・分析を行うこととした。



図 - 1 対象地(大阪) 図 - 2 対象地(神戸) 図 - 3 対象地(奈良)

#### 4. 近景の現地調査と分析

調査の対象とした都市の主要駅(大阪：JR大阪駅、神戸：阪急三ノ宮駅、奈良：JR奈良駅)周辺に着目し、まず建物を用途別に、販売商業施設・業務施設・娯楽施設(サービス施設もここに含む)・公共施設の四部門に分けた。このデータをもとにして主要道路別に四部門に分けた建物用途それぞれの数を調べ、そこから各三都市それぞれ交差する二本の道路を取り出し、ある程度道路距離の合計を均一にした上で、その道路に面する四部門それぞれの建物用途の長さの割合が近似する組み合わせであった二本の道路を最終的に対象地区としたこの道路沿いの照明の現況を、三都市別に比較することにした。夜間に光を放つものの種類分けとして、大きくショウウィンドウ・窓・文字・看板・横看板の5種類に分け、それぞれの夜間(午後7～8時)に光を放っている部分の面積や個数等を、各都市の現地において計測した。以上の結果、図-4～6に示す通り各都市における特徴が明らかとなった。

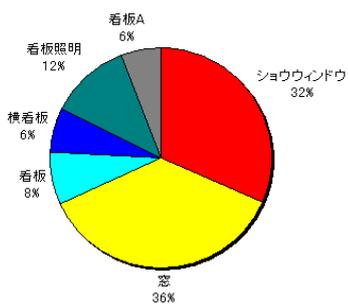


図 - 4 大阪

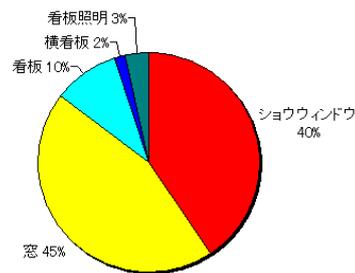


図 - 5 神戸

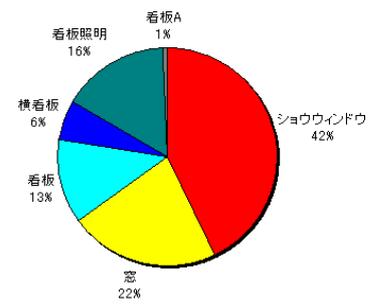


図 - 6 奈良

#### 5. 三都市の夜間景観の比較・考察

大阪の夜景の長所は、とにかく派手であり、昼と同じかまたはそれ以上に夜の街に賑わいと活気が持てるよう工夫がされている。大阪には個性的で自己主張の強い人が多いと言われるように、建物にも派手で個性的で主張の強いネオンサインを取り付けることにより、人を街に惹きつけている。これは、神戸と奈良では見られない特徴である。だが、この派手さと統一感の無さにより、夜の静けさが全く失われているというのが、短所にも繋がっていると思われる。

神戸の夜景の長所は、街全体にある程度均等した明るさの光が射すように工夫がされており、大阪のような主張の強い派手なネオンサインは全く見られない。ガラスを通した透明感のある光を多く用いることにより、街全体が明るさを失うことなく、かつ、神戸独特の落ち着いた雰囲気での夜景形成に繋がっている。三都市の中で一番バランスのとれた夜景と言える。

奈良は、大阪・神戸と比較すると、夜景としては見劣りする部分はあるかも知れないが、古都の歴史的景観を後世に残していこうという取り組みがされており、昔ながらの日本の夜景の姿が感じられるように工夫がされている。

#### 6. おわりに

以上の分析結果から、遠景から見たときの三都市の夜景のイメージ的な差異について、近景と遠景の関連性から明らかとなり、夜間景観シミュレーションにまで繋ぐことができた。

上記の結果にもとづいて行ったシミュレーションでは、派手なネオンサインが多く取り付けられたビル群とショウウィンドウと窓のみの灯かりしかない場合のビル群、それに間接照明が加わったときのビル群等の比較、それらの組み合わせなどによって、街に安全な明るさを確保し、すべての人達に不快感を与えることなく自然に受け入れられるような夜間景観の創造を試みた。

【参考文献】 商業施設、市ヶ谷出版社、2003年